

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	イオン	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.049	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：イオン

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：トゥルース・ツアー

フレアーの幅 インチ

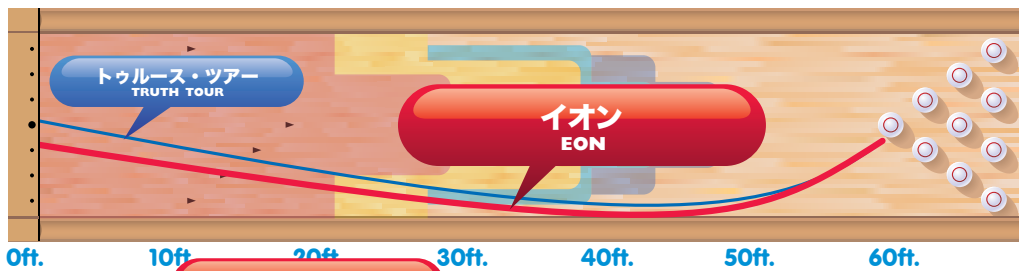
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

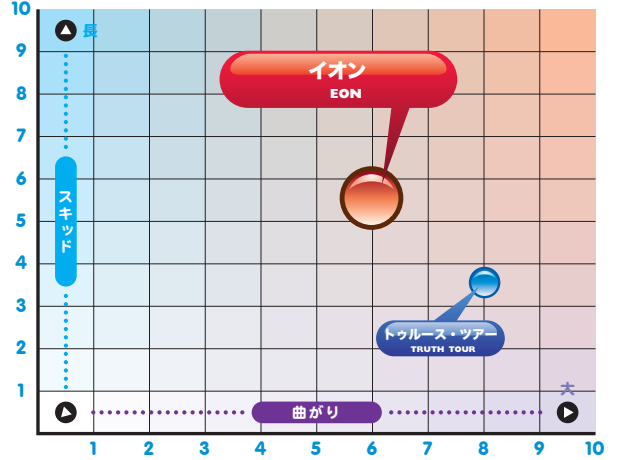
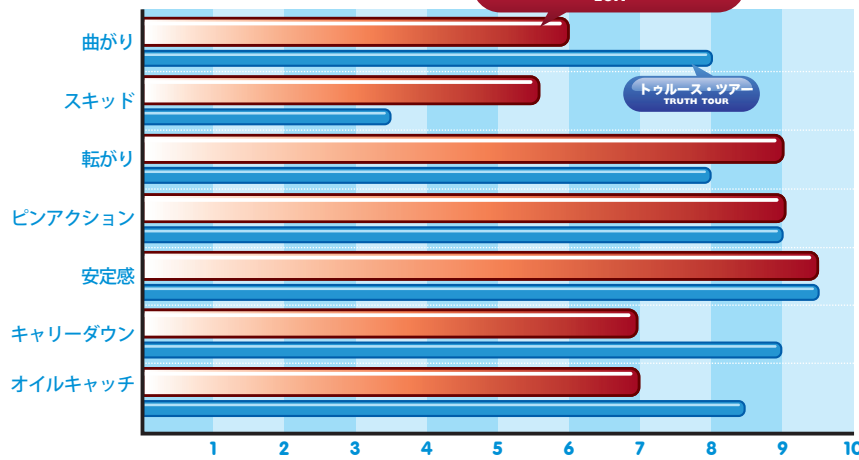
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

900Global社は今回、扇型と円錐とを組み合わせた新たなテクノロジーのコアを発表してきました。一つは同時発売で非対称コア、高いInt DiffをもつContinuumに搭載されているEllipticonコア。もう一つは対称コアであるこのEonのOlloidコアです。この二つのボールはHybridとPearlの素材の差はありますが、S82RXというInception DCTに次に強いカバーストックが新たに開発されたこと。そしてContinuumは一番領域が上位のTour Engineered 900 Series、EonはPrime 800 Seriesとして見事に二つのボールの用途を変えています。

二つのボールを比較投球してみると、Continuumは大きく持続的に弓なりに動くイメージに対し、Eonはスキッドが長く、弓なりの弧がそのまま小さくなっているというのがリアクションイメージです。それでも双方に共通して言えるのは、とにかく転がりが良く、ピンヒットまで持続しているのが、意図的にコントロール重視のスペックで仕上げてきたであろうコンセプトが伺えます。

EonはS82RXという強いカバーストックながらPearl素材の利点を前面にだしてキャッチよりも直進力を重視しています。やはりそれは転がりの良いコアならではの特性を十分に考慮した点、またContinuumとハッキリと差別化するためのPearl素材のチョイスであることが言えるでしょう。ミディアムヘビーからミディアムまでとにかく扱いやすさが前面にでています。

私はこのボールの最大の武器はコンディションの変化に急激なライン変化を感じさせにくいのが特徴だと感じています。オイルが多少あっても削れてきてもリアクションイメージの差が少ないのが最大の利点であり、コンディション攻略の中で先の動きが強く出過ぎる場合、またはリアクションが暴れてしまう場合にこのEonは必ずやあなたのスコアメイクの味方になってくれるでしょう。

特記事項

ミディアムコンディション中心に転がりからピンヒットまでボウラー自身で曲りをプロデュースできる性能。転がり続ける持続的な曲りをその手でお試ください。